

「あゆみ」の見方について

令和3年 7月 20日
大阪狭山市立西小学校

評価項目、評価方法、評価の基準等について、「あゆみ」を配布する今日、「あゆみ」の見方についてお伝えさせていただきます。

学習の様子は、それぞれの観点別の目標に達しているかどうかで表しています。学習内容と到達すべき目標は、学習指導要領に示されていますので、それに沿って評価の基準や評価方法を決めています。そのため、学習の評価は、担任によって変わるものでも、学年集団によって変わるものでもありません。

西小では、全学年で「よくできる」「できる」「がんばろう」の3段階評価になっており、設定されている学習のねらい（あゆみに書かれている項目）に達しているかで評価しています。

各教科の項目については、「知識・技能」や「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」といった総合的な力でとらえ、1年生から6年生まで系統立ててねらいを持ち、指導、評価しています。

●評価方法について

各学年、各教科同じ観点で評価し、各観点は主に次の方法で評価しています。

○「知識・技能」

各教科における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等理解したり、技能を習得したりしているかで評価します。具体的には、「ノートやワークシート」「記録などの記述内容」「発表、発言の内容」「ペーパーテスト」「製作物、作品の内容」「実技テスト」「実験・実習の様子」「漢字を正しく書く」「文字をていねいに書く」「資料を読み取る」「計算や作図ができる」「観察・実験などを行い記録する」「歌唱や器楽演奏ができる」「工夫して作品をつくる」「日常生活に必要な基本的な技能を身につける」「各運動の技能を身につける」などから判断します。

○「思考・判断・表現」

各教科の知識及び技能を活用して課題を解決することを通じてどのように「思考力・判断

力・表現力」が身につけているかで評価をします。具体的には、「ノート、ワークシート、観察記録、作文などの記述内容」「発表、発言、説明、話し合いなどの内容」「製作物、作品」「ペーパーテスト」などから判断します。

○「主体的に学習に取り組む態度」

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面などで評価をします。

●3段階評価の基準について

- | | |
|-------|------------------------|
| よくできる | 目標に照らして十分満足できる状況である。 |
| できる | 目標に照らしておおむね満足できる状況である。 |
| がんばろう | 目標に照らして努力を要する状況である。 |

●外国語活動(3・4年)の評価について

つけたい力を3つの観点として挙げ、できる・がんばろうの2段階評価のうち、個人の中で顕著なものに○をつけています。

●学校生活の様子について

学校生活を送る上で、身につけてほしい具体的な目標を設定しています。できる・がんばろうの2段階で評価し、個人の中で顕著なものに、○をつけています。

●道徳(1～6年)・総合的な学習(3～6年)の評価について

学年末に、文章記述で評価します。

●所見欄について

学年末に、教科の学習面や生活面でがんばったことや成長したこと、また課題などについて文章記述します。

ご家庭では、子どもたちの学習や生活を通じた学校生活をよく知っていただき、よくがんばったことやできるようになったこと、もう少しがんばってほしいところなど、子どもとともに考え励ます資料として、「あゆみ」を活用していただくことを願っています。